

会 議 録

会 議 名	令和元年度第3回小金井市文化財保護審議会（第7期）		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和元年11月6日（水）午前9時半から10時10分		
開 催 場 所	文化財センター学習室		
出 席 委 員	二宮委員（会長） 田中委員 椎名委員		
欠 席 委 員	孤島委員 鈴木委員 伊藤委員		
事 務 局 員	関生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 文化財ウィーク主催事業について</p> <p>ア 小金井市史刊行記念講演会</p> <p>イ 企画展「小金井の石造物」</p> <p>ウ 文化財講演会「はけの住環境-中村研一邸と佐藤秀三-」</p> <p>エ 史跡めぐり「はけ周辺の文化財」</p> <p>(2) 小金井神社本殿の文化財指定について</p> <p>2 その他</p> <p>旧中村研一邸茶室（花侵庵）の修復について</p> <p>3 次回の会議日程</p> <p>第4回 令和2年2月12日（水）午前10時</p> <p>場所：市役所第二庁舎8階801会議室</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 文化財ウィーク（通年編）</p> <p>(2) 文化財ウィーク（特別公開編）</p> <p>(3) 本町六丁目遺跡報告書</p> <p>(4) 文化財イベントチラシ</p> <p>(5) 企画展チラシ</p> <p>(6) 東京の文化財第127号</p> <p>(7) 月刊こうみんかん9,10,11月号</p>		

会 議 結 果

関生涯学習課長 お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。
ただいまから令和元年度第3回文化財保護審議会を開催いたします。本日は3名の委員の方から欠席のご連絡をいただいておりますが、文化財保護審議会の議事を定めた小金井市文化財保護条例第47条「審議会は委員の半数以上の出席がなければ会を開くことができない」と定めているところ、半数以上ですので、本日の審議会は成立していることを冒頭、報告させていただきます。また、伊藤委員におかれましては、ご体調がすぐれないことから、審議会始め、今後の文化財事業調査の参加はしばらく欠席されるとのご連絡をいただいておりますので、あわせて報告いたします。

山崎生涯学習係長 それでは、会議に先立ちまして、本日の配付物の確認をいたします。本日の配付物の確認をさせていただきます。まず、本町六丁目遺跡の調査報告書ができあがりまして、お配りいたしました。そして、本日の視察資料、文化財センター企画展チラシ、市主催秋の文化財イベント情報のチラシ、東京の文化財第127号、こちらには、今回東京文化財ウィーク新規参加文化財として、国登録有形文化財となりました旧中村研一邸主屋が写真付きで掲載されております。例年、10月、11月の2か月間に行われる東京文化財ウィーク2019ガイドブック通年公開編と特別公開・企画事業編、月刊こうみんかん、以上です。不足がございましたら、お申し付けください。

関生涯学習課長 よろしいでしょうか。それではこの後の議事進行につきましては、二宮会長にお願いしたいと存じます。会長よろしくお願ひいたします。

二 宮 会 長 改めまして、おはようございます。本日は3名で、寂しいですね。特に、伊藤委員には、みなさんでご回復をお祈りしたいと存じます。本日は、この後に視察もございますので、なるべく速やかに進めてまいりたいと存じます。それでは、本日の次第に従って、1報告事項(1)文化財ウィーク主催事業のア小金井市史刊行記念講演会について、係長お願ひいたします。

1 報告事項

(1) 文化財ウィーク主催事業について

ア 小金井市史刊行記念講演会について

山崎文化財係長 小金井市では平成20年度から約10年にわたり6冊の小金井市史を刊行いたしまして、平成30年度末をもって各専門部会において資料調査、研究、執筆にあたられた編集委員、調査員等総勢36名の方達への市の委嘱は終了いたしました。これを一つの区切りといたしまして、市史刊行記念講演会を11月2日(土)午前10時から、宮地楽器小ホールにて開催いたしました。

当日は、大熊教育長がコーディネーターとなり、4人の各専門部会の編集にあたられた市史編さん委員の先生方に、各時代と現代の小金

井とのつながりについて、また、市史編さんのご苦労話や他の自治体史編纂のご経験のある専門の方の視点からの小金井市の魅力を熱く語っていただき、短時間ながら中身の濃い、充実した時間となりました。参加者の大半は既に市史をご購入済みのようにでしたが、中には、お帰りの際にこちらで設けた書籍販売ブースに立ち寄って購入される方もいらして、この企画の目的の一つである「市史をもう一度手に取っていただくきっかけ」ともなり、市史編さんの節目にふさわしい有意義な企画となったかと思えます。この事業への応募者数は79人、当日の参加者は、当日申し込み6人を含む69人でした。以上です。

二 宮 会 長 どうもありがとうございました。大変良い会になったと思っております。審議会にも資料を活かしていければと思っております。この件については特によろしいでしょうか。

次にイ企画展「小金井の石造物」についてお願いします。

イ 企画展「小金井の石造物」について

高木主事(学芸員) こちらの企画展は、11月1日から12月25日までの期間、文化財センターにて開催されております。こちらの内容につきましては、今回は市内の石造物、石でできた造形物を取り上げております。市内にはたくさんの石造物が残されておりますが、その中でも、特にみちしるべとしての役割を果たした庚申塔をピックアップして、今回その石造物の重要性を広く知っていただくために、実物資料、石造物そのものを展示して、パネル写真等を用いて紹介しております。会議終了後、早速企画展の見学をしていただきます。詳細については、こちらで解説させていただきます。今回小金井の石造物を取り上げるに至った経緯は、小金井市史編さんの過程で、石造物について地道に調査をしてきておりました。市史編さん過程での調査の成果と文化財の観点から見た石造物という両面からとらえ直して、形にしたというものです。

二 宮 会 長 のちほど解説をお願いいたします。次のウとエについては、合せてお願いいたします。

ウ 文化財講演会「はけの住環境-旧中村研一邸と佐藤秀三-

エ 史跡めぐり

高木主事(学芸員) 文化財講演会と史跡めぐりについてご説明いたします。これから開催するものです。文化財講演会は11月17日(日)午前10時からはけの森美術館にて「はけの住環境 旧中村研一邸と佐藤秀三」というタイトルで行ないます。登録有形文化財となりました旧中村研一邸の建築的特徴を中心に紹介し、またこの建築を手がけた建築家の佐藤秀三と彼が手がけた建築物それぞれについてのご説明を講師の方にお願ひしております。当初、この講演会の講師としては、本市の文化財保護審議会の委員の伊藤先生をお願いしておりましたが、冒頭のご説明のとおり諸事情により講演が難しいとのことで、先生のご推薦で、中村研一邸の建築、調査に携わられた先生に代替えの講師をお願いす

ることに今なっております。現在定員40名の中30名のお申込みも受付済ですので、その方向で現在調整中です。

11月23日(土)に予定しております「史跡めぐり」では、はけ周辺の文化財をめぐる予定です。健康課で作成した「小金井てくてくマップ」を材料としまして、旧中村研一邸をはじめ小金井市の東側のエリアにある国分寺崖線、はけの周辺の文化財や史跡を含めたルートで案内して廻ります。定員30名で現在26名の申込みを受けております。2つの事業の両方に申し込まれている方も中にはいらっしゃいます。旧中村研一邸が国登録有形文化財ともなった記念の年ですので、なるべくアピールは図りながら、はけ周辺の文化財にスポットを当てて、案内してまいりたいと思っております。

二 宮 会 長

今の4点については、文化財ウィークのパンフレット特別公開編の64, 65ページに詳細な説明が掲載されています。伊藤委員の講師が変更になった件は残念ですが、何かご質問はございますか。

応募状況は大変いいようですね。

高木主事(学芸員)

非常に反応がいいです。一つは登録有形文化財となったことと、「はけ」に関心をお持ちの市民が多いからでしょうか。応募者の内訳は、市内、市外の申込みが半々です。市外からの関心が高いのが特徴でしょうか。

椎 名 委 員

ちなみにはけの文化財というのは、どのようなものがあるのでしょうか。

高木主事(学芸員)

主に遺跡を中心に廻る形になります。去年は、はけでも西側の地域を見てまわりました。今回は東側の野川沿い、武蔵野公園近く、駅からは離れるのですが、旧中村研一邸を含むハケ周辺の文化財について案内し、解説して廻ります。遺跡については、目に見えるものが無いので住んでいる方はわからないと思います。うまく写真を使いながらイメージを膨らませることのできるような説明をこころがけたいと思います。見た目はただの地面ですので。小金井のもともとの中心地であった小金井村がまさにこの地域にありまして、小金井神社もその一つなのですが、古からある小金井の歴史を掘り下げて紹介できればと思っております。

田 中 委 員

「はけ」とよぶ地域はどの辺を指すのですか。

高木主事(学芸員)

昔は分かりません。現在の考え方では、国分寺崖線イコールはけという概念です。国分寺崖線があるところですね。

田 中 委 員

世田谷区ではあまりはけと書かれていないですね。二子玉川の近くにあります。

高木主事(学芸員)

河岸段丘といいますか、崖線もはけと読んでいます。ただ、積極的にはけと呼ぶのは国分寺、小金井、調布市あたりでしょうか。定義としては非常にあいまいです。

田 中 委 員

深大寺あたりもはけと呼んでいますよね。この周辺と下流の二子玉川は身近な場所なのですが、その中間の部分についてはあまりなじみがなかったのでお聞きしてみたのですが。

高木主事 (学芸員) そうですね。野川だけではなく、多摩川の崖線に対して、立川崖線に対しての地域をはけとも呼んでいます。
何かご存知でしたら教えていただきたいです。

田中委員
椎名委員
高木主事 (学芸員) 二子玉川の方には古墳はありますが、こちらにはないですよ。国分寺崖線文化というものがあるのかもしれないですね。
今はかなり広範囲に亘ったはけの環境という言い方をしますが。本来は水が湧き出て、吐き出すという言葉からきたと説明される先生もいらっしゃいますね。

椎名委員 そういう概念だとすると、これは文化財的見地の問題ではないかもしれませんが、湧水量の減少ということが関わってくるような気がしますね。相当減っていますよね。

高木主事 (学芸員) はけの概念については、もう少し勉強してみます。ただ、小金井は『武蔵野夫人』というベストセラーがあった影響もあって、はけの地域という見方がかなりされています。

椎名委員 真姿の池はJRのトンネルの排水なのですよ。

田中委員 関わっている自治体はいくつあるのですか。

高木主事 (学芸員) 野川、国分寺崖線ですと、立川、国分寺、小金井、調布市、三鷹、狛江、ベルト地帯は広範囲に及びます。

田中委員 世田谷区と大田区もですよ。

高木主事 (学芸員) 研究が必要ですね。

二宮会長 今回の市史編さんでも大変きれいな地図ができておりますので、そういったものも活用していただきながら、散策していただくと思いいいのではないかと思います。ここまでよろしいでしょうか。
次に(2) 小金井神社本殿の文化財指定についてお願いします。

(2) 小金井神社本殿の文化財指定について

高木主事 (学芸員) 前回に引き続き、小金井神社本殿について、ご説明いたします。経過報告も含めて報告いたします。改めてとなりますが、小金井神社、元は天満宮でございますが、今から260年前、江戸時代中期、宝暦期に建築されたと思われる近世の建築物が残されています。それが本殿になります。

以前文化庁による調査「近世の寺社建築物」の調査対象として小金井神社が選ばれて、その重要性については、1989年の報告書で紹介されております。ある意味、文化財指定の案件にのせる必要があるものとの認識を持っております。

ただ、小金井市としては文化財指定をするにあたり、既に文化庁、東京都の方で、近世の寺社、建築として紹介されている内容だけでなく、もう少し詳細なデータが欲しいところですので、建築がご専門の伊藤先生の協力をいただいて、建築調査を考えております。建築調査の報告を鑑みて今後審議会のこの場において、指定案件についてのお諮りをするという考えをもっておりますので、その際にはご審議のほどよろしく申し上げます。今後の動きとして、今事務局では調査を進

めておりますので、そのへんの報告がまとまり次第、正式に審議会の場において諮問、ご審議の上、結果をいただく形となります。本日はその点をご承知おきいただきまして、ご了承いただければと思っております。

もう一点、報告があります。本殿に附属する拝殿につきまして、老朽化に伴いまして建て替え工事がされております。既に建築して百年が経過している拝殿ですが、先月の中旬に解体が完了しております。今後は11月中に新しい拝殿のために基礎工事がはじまるとのことです。新しい拝殿については、来年の年末までの完成を予定しているようです。本殿の指定と別件、拝殿の解体についてでした。

二宮会長

ありがとうございました。大変重要な文化財だと思います。伊藤委員がご回復なされれば、具体的な話になってくるかと思いますが。

この件につきましては、こちらの審議会の方でも、文化財指定候補案件として取り上げ、進めていくということで共通認識をもったということによろしいでしょうか。

委員

(承諾)

椎名委員

拝殿は本殿と同じ頃に作ったものですか。

高木主事(学芸員)

年代は全く異なるもので、本殿は宝暦、18世紀頃の建築で、拝殿は明治27年建築のものになります。様式が全く異なるものです。

本殿の視察も審議会で行う予定でおりますので、事務局で神社さんと調整して通常非公開となっている部分ですが、指定の前段でご覧いただく機会を設定してまいりたいと思います。

二宮会長

それでは、その他旧中村研一邸茶室(花侵庵)の修復について、お願いいたします。

2 その他

旧中村研一邸茶室(花侵庵)の修復について

高木主事(学芸員)

簡単な経過報告です。国登録有形文化財になりました2棟のうち1棟茶室「花侵庵」の老朽化が進んで、傷みが激しく人が入れない状態です。こちらの建物を所有するコミュニティ文化課より修復工事についての報告がありまして、12月から修復工事を実施するとのことでしたので、審議会にもお伝えします。修復工事については、今年度内の完了を予定しているとのことです。

椎名委員

花侵庵の名前の由来は何ですか。

高木主事(学芸員)

中村研一が名づけました。本人が梅の花の香りを好んでいたことは有名でして、現在ある茶室の周辺の農家で栽培されていた梅の花か、あるいは庭にも梅の花があったとも言われておりますが、その香りが侵入してくる、入ってくる素敵な場所であるということから、梅の花の香りが漂う茶室で、「花侵庵」と名付けたということです。

これには裏話がありまして、最初は、具材を再利用、転用して作った茶室であることから、本人が乞食庵と名付けようとしたのですが、周囲から大反対にあい、この名になったと言われております。

非常に生活は質素にされていたそうです。

椎名委員 いろいろな具材を集めたのですか。中古のですか。

高木主事(学芸員) はい。

椎名委員 それは結構いい話題になりますね。出所は出せないかもしれませんがね。中村研一の人となりやを彷彿させる。今の話でも、建築空間と花の咲いている庭園空間の融合みたいなものを目指したのでしょうか。具材を集めたのは面白いですね。今様ですね、環境に配慮する現代の風潮にあっていますね。

二宮会長 ほかによろしいですか。

今回、台風により多方面で被害が出たようですが、小金井市は大丈夫だったのですか。

関生涯学習課長 小金井市におきましては、特にめだった被害の報告はございませんでした。

椎名委員 野川は危険水位にはならなかったのですか。

関生涯学習課長 野川には調節池がありますので、そちらに一定水が流れたと聞いております。

椎名委員 武蔵野公園のところのですね。総合治水が効果を発揮したのですね。

関生涯学習課長 台風19号の際に、翌日の日曜日にこの建物文化財センターと玉川上水沿いの小金井サクラの並木についても、私ども点検に参りました。細かい枝折れはありましたが、大きな被害はございませんでした。

田中委員 野川の下流、二子玉川の堤防のないところや仙川のあたりですね、気になっていました。台風15号の方が風はひどかったようですね。枝折れも激しかったように聞いています。

関生涯学習課長 そうですね。

二宮会長 私の家の周辺もハザードマップで見ると危険区域に入っていました。この機会にそういったことも見直してみる必要があるかと思いました。多様な土地なので。

川崎市の市民ミュージアムは地下に収蔵庫があって、水害で収蔵品が被害にあったと聞いています。そういった防災上の視点で、小金井市でも施設等を再点検する必要があるのではと思いました。

それでは、次回会議の案内をお願いいたします。

3 次回の会議日程

山崎文化財係長 次回は、令和2年2月12日(水)午前10時から市役所第二庁舎8階801会議室にて行います。よろしく願います。

二宮会長 全体を通して何かございますか。本日の会議はこれで終了とさせていただきます。本日はこの後、企画展の見学と市内の文化財視察となります。どうもありがとうございました。